

資料4

(未定稿)

内外の関連資料館について

1 (独) 平和祈念事業特別基金が開催する 「関係資料館会議」構成資料館

(資料館名) 樺太関係資料館	(設置者) 北海道	(所在地) 北海道札幌市	(設立年月) 平成16年8月	(常設展示室面積(m ²)) 約200
<p>〈設置目的等〉 古くから交流・交易が行われてきた南樺太に関する資料の展示と、現在の北海道・サハリン間の交流状況などを紹介し、両地域の関係についての理解を深めるとともに、友好関係の一層の発展に寄与すること。</p> <p>〈主な展示資料〉 「歴史的・文化的遺産の伝承」、「樺太における戦争と平和」、「樺太引揚者の労苦」、「サハリンとの交流」の4つのテーマに分けて、解説パネル、写真パネル、実物資料を展示。</p>				
(資料館名) 仙台市戦災復興記念館	(設置者) 仙台市	(所在地) 宮城県仙台市	(設立年月) 昭和56年4月	(常設展示室面積(m ²)) 約400
<p>〈設置目的等〉 仙台空襲と復興事業の記録を保存し、仙台市の今日の発展の蔭にあった戦災と復興の全容を後世に伝えとともに、あの悲劇を二度と繰り返さないための平和の殿堂としていくこと。</p> <p>〈主な展示資料〉 仙台の街の誕生から戦災前までの仙台、戦時中の暮らしや空襲の様子、戦後の仙台の移り変わりについて、実物資料、写真、模型等を展示。</p>				
(資料館名) 埼玉県平和資料館	(設置者) 埼玉県	(所在地) 埼玉県東松山市	(設立年月) 平成5年8月	(常設展示室面積(m ²)) 約500
<p>〈設置目的等〉 県民に戦争の悲惨さ及び平和の尊さを伝えることにより、県民の平和に対する意識の高揚を図り、もって平和な社会の発展に寄与すること。</p> <p>〈主な展示資料〉 昭和初期から終戦までの期間を中心に、県民生活と戦争との関わりを歴史的な推移の中で理解できるよう、実物資料、写真、模型等を展示。戦時中のある一日(修身の授業→空襲警報→防空壕→光と振動)が疑似体験できる。</p>				

(資料館名) 昭和館	(設置者) 厚生労働省	(所在地) 東京都千代田区	(設立年月) 平成11年3月	(常設展示室面積(m ²)) 約1,600
---------------	----------------	------------------	-------------------	--------------------------------------

〈設置目的等〉

戦没者遺族に対する援護施策の一環として、戦没者遺族をはじめとする国民が経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦に係る歴史的資料・情報を収集、保存、展示し、後世代の人々にその労苦を知る機会を提供すること。

〈主な展示資料〉

「母と子の戦中・戦後」をメインテーマとして、戦没者遺族をはじめとする多くの国民が経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世代に伝える展示を実施(実物資料、写真、図解、映像等を展示)。

(資料館名) しょうけい館(戦傷病者史料館)	(設置者) 厚生労働省	(所在地) 東京都千代田区	(設立年月) 平成18年3月	(常設展示室面積(m ²)) 約700
---------------------------	----------------	------------------	-------------------	------------------------------------

〈設置目的等〉

戦傷病者とその家族等が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、後世代の人々にその労苦を知る機会を提供すること。

〈主な展示資料〉

戦場で負傷したある兵士の足跡を辿る形で、戦傷病者とその家族の労苦を伝える実物資料、写真、模型(「野戦病院」を再現したジオラマなど)等を展示。

(資料館名) 川崎市平和館	(設置者) 川崎市	(所在地) 神奈川県川崎市	(設立年月) 平成4年4月	(常設展示室面積(m ²)) 約700
------------------	--------------	------------------	------------------	------------------------------------

〈設置目的等〉

平和を愛し、豊かな心を育み、平和への新たな活動につながる場を願って造られた施設。

〈主な展示資料〉

「川崎大空襲」、「日本と戦争」、「戦争と人間」等のテーマごとに、映像資料、実物資料等で展示。

(資料館名) 地球市民かながわプラザ	(設置者) 神奈川県	(所在地) 神奈川県横浜市	(設立年月) 平成10年2月	(常設展示室面積(m ²)) 約700
-----------------------	---------------	------------------	-------------------	------------------------------------

〈設置目的等〉

「こどもの豊かな感性の育成」、「地球市民意識の育成」、「国際活動の支援」という3つの目的をもって、平和な国際社会づくりに地球から貢献していくことをめざすこと。

〈主な展示資料〉(国際平和展示室について)

神奈川県空襲の様子、戦争が世界の人々に与えた苦痛、冷戦やその後の戦争・紛争、地域からの国際協力への貢献などについて、パネル、実物資料により展示。

(資料館名) 舞鶴引揚記念館	(設置者) 舞鶴市	(所在地) 京都府舞鶴市	(設立年月) 昭和63年4月	(常設展示室面積(m ²)) 約300
-------------------	--------------	-----------------	-------------------	------------------------------------

〈設置目的等〉

再び、繰り返してはならない戦争の悲劇、悲惨な引揚げの史実を長く後世に伝えること。

〈主な展示資料〉

旧ソ連邦や中国などの大陸からの引揚げを迎えたことから、シベリアの収容所での抑留生活や中国(満州)等からの引揚げの実物資料、写真、模型(ラーゲリ)、映像資料等を展示。

(資料館名) 大阪国際平和センター	(設置者) 大阪府・大阪市	(所在地) 大阪府大阪市	(設立年月) 平成3年9月	(常設展示室面積(m ²)) 約700
----------------------	------------------	-----------------	------------------	------------------------------------

〈設置目的等〉

戦争の悲惨さを次の世代に伝え、平和の尊さを訴え、平和の首都大阪の実現をめざして、世界平和に貢献すること。

〈主な展示資料〉

大阪空襲、満州事変から第二次世界大戦終結に至るまでの戦争、戦後の平和(核戦争の脅威など)について、1トン爆弾や防空壕などの模型、実物資料、写真、映像資料等を展示。

(資料館名) 堺市立平和と人権資料館	(設置者) 堺市	(所在地) 大阪府堺市	(設立年月) 平成6年7月	(常設展示室面積(m ²)) 約200
-----------------------	-------------	----------------	------------------	------------------------------------

〈設置目的等〉

堺市の人権擁護都市宣言、非核平和都市宣言の趣旨を生かし、戦争の悲惨さ、平和の尊さ、そしてお互いの人権を尊重することの大切さを訴えるとともに、次世代に伝えること。

〈主な展示資料〉

展示室には「平和ゾーン」、「人権ゾーン」、「環境ゾーン」があり、「平和ゾーン」では、堺大空襲を迫体験できる映像装置や、被災した三輪車などの実物資料、写真、模型等を展示。

(資料館名) 姫路市平和資料館	(設置者) 姫路市	(所在地) 兵庫県姫路市	(設立年月) 平成8年4月	(常設展示室面積(m ²)) 約200
--------------------	--------------	-----------------	------------------	------------------------------------

〈設置目的等〉

姫路市が行っている「平和都市宣言」、「非核平和都市宣言」に基づき、戦争の惨禍と平和の尊さを後世に伝え、平和な社会の発展に寄与するため、空襲に視点を置いた資料館として設立。

〈主な展示資料等〉

「美しい城下町・姫路」、「覆われた姫路城」、「炎の中の姫路城」、「よみがえる姫路城」、「平和を祈って」の5つのテーマごとに、空襲後の姫路市街の様子などの模型、実物資料、写真、映像資料等を展示。

(資料館名) 浦頭引揚記念資料館	(設置者) 佐世保市	(所在地) 長崎県佐世保市	(設立年月) 昭和61年5月	(常設展示室面積(m ²)) 約70
---------------------	---------------	------------------	-------------------	-----------------------------------

〈設置目的等〉

再び繰り返してならない悲惨な引揚げの体験を後世に伝え、その中に世界の恒久平和を願うこととし、かつ、この引揚げの地を歴史的遺産として永遠に残すこと。

〈主な展示資料〉

当時の着衣、引揚証明書、収容所での詩集、検疫所DDT消毒器具などの実物資料、写真、引揚経路模型等を展示。

(資料館名) 知覧特攻平和会館	(設置者) 南九州市 (旧:知覧町)	(所在地) 鹿児島県 南九州市	(設立年月) 昭和62年2月	(常設展示室面積(m ²)) 約1,900
--------------------	--------------------------	-----------------------	-------------------	--------------------------------------

〈設置目的等〉

特攻隊員の慰霊に努め、当時の真の姿、遺品、記録を後世に残し、恒久の平和を祈念すること。

〈主な展示資料〉

4機の戦闘機の実物又は復元模型、特攻隊員の遺影やスナップ写真、遺書、遺品、映像資料等を展示。

(資料館名) 沖縄県平和祈念資料館	(設置者) 沖縄県	(所在地) 沖縄県糸満市	(設立年月) 昭和50年6月 (平成12年4月 移築)	(常設展示室面積(m ²)) 約1,300
----------------------	--------------	-----------------	--------------------------------------	--------------------------------------

〈設置目的等〉

戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に沖縄のこころを訴え、もって恒久平和の樹立に寄与すること。

〈主な展示資料〉

「沖縄戦への道」、「鉄の爆風」、「地獄の戦場」、「証言」、「太平洋の要石」の5つのテーマに分け、実物資料、映像資料、体験者の証言等を展示。住民が避難したガマ(自然洞窟)を再現。

2 諸外国における先の大戦に関する資料館の例

	(資料館名)	(所在地)	(設立形態)	(設立年月)	(常設展示室面積(m ²))
イギリス	帝国戦争博物館	ロンドン	国立	1920年	約7,800

〈設置目的等〉

1914年以降の英国や当時の英国領及び現在の英連邦のかかわった軍事活動、それにかかわる事象や人に関する記録を保管すること。

〈主な展示資料〉

吹抜けの中央展示場に戦車や航空機などの大型展示物。各展示室には、兵器、軍装の実物、戦場やロンドン空襲のジオラマや写真、兵器増産への協力を呼びかけたポスターなど。ユダヤ人大虐殺についての展示室もある。

	(資料館名)	(所在地)	(設立形態)	(設立年月)	(常設展示室面積(m ²))
アメリカ	アメリカ第二次大戦博物館	ニューオーリンズ	国立※	2000年	約1,500

〈設置目的等〉

第二次世界大戦の勝利に貢献した人々の勇気と犠牲をたたえ、後世に継承すること。

〈主な展示資料〉

上陸用舟艇や爆撃機のレプリカ、ノルマンディ海岸の展望、太平洋戦線の解説パネル、戦場の写真、元兵士の証言等を展示。

※民間の非営利団体が運営しているが、米議会により「国立」の名称を用いることが承認されている。

	(資料館名)	(所在地)	(設立形態)	(設立年月)	(常設展示室面積(m ²))
フランス	レジスタンス解放博物館	シャンピニ(パリ郊外)	国立	1985年	約450

〈設置目的等〉

レジスタンスがフランス開放のために行った活動の歴史を保存するとともにユダヤ人の送還の歴史を刻み込むこと。

〈主な展示資料〉

レジスタンス関係のビラやポスター、偽造身分証を作った道具や無線機、ナチスに処刑されたレジスタンスの名前が記された壁などを展示。レジスタンス活動に関する体験者の口述も記録。

ドイツ	(資料館名) ドイツ歴史博物館	(所在地) ベルリン	(設立形態) 国立	(設立年月) 2006年	(常設展示室面積(m ²)) 約10,600
-----	--------------------	---------------	--------------	-----------------	---------------------------------------

〈設置目的等〉

ドイツの2000年の歴史に関する教育と研究の場を提供すること。

〈主な展示資料〉

紀元前1世紀から現在までのドイツの歴史を展示しており、戦争関連では、「ナチ政権と第二次世界大戦」として、写真、絵画、実物資料等を展示。

ポーランド	(資料館名) アウシュビッツ・ビルケナウ博物館	(所在地) オシフィエンチム、ブジェジンカ	(設立形態) 国立	(設立年月) 1947年	(常設展示室面積(m ²)) 約2,000,000
-------	----------------------------	--------------------------	--------------	-----------------	--

〈設置目的等〉

強制収容所に関する物的証拠の収集と管理、学術研究の機関として永久保存すること。(1979年ユネスコが世界文化遺産に登録)

〈主な展示資料〉

収容所の一部が当時の状況のまま保存されており、内部を見学することが可能。収容所内に当時の収容者の写真や実物資料(犠牲者の遺品や毛髪、毛髪で作られた生地など)を展示。ガス室、焼却炉、絞首刑台等も一部現存。

ロシア	(資料館名) 大祖国戦争中央博物館	(所在地) モスクワ	(設立形態) 国立	(設立年月) 1995年	(常設展示室面積(m ²)) 約14,000
-----	----------------------	---------------	--------------	-----------------	---------------------------------------

〈設置目的等〉

大祖国戦争(ソ連とドイツ及びその同盟国との戦争の、ソ連・ロシアにおける呼称)の知識普及を図るとともに、歴史的資料を収集すること。

〈主な展示資料〉

写真パネル、地図、当時の新聞や公文書、兵器、勲章等の実物資料を展示。主要6戦場のジオラマも。英雄の顕彰や犠牲者追悼のためのホールもある。野外には、戦車、航空機等の大型展示物。

中国	(資料館名) 中国人民抗日戦争記念館	(所在地) 北京	(設立形態) 国立	(設立年月) 1987年	(常設展示室面積(m ²)) 約6,700
<p>〈設置目的等〉 日本の侵略戦争を世界の戦争の歴史の大事件としてとらえ、記録に残し、後世の子どもたちに対する反戦教育とするとともに、国内外の人々に戦争の悲惨さと戦争の現実を伝えること。</p>					
<p>〈主な展示資料〉 満州事変から1945年の終戦、現在の日中関係まで、時系列及びテーマ別に、写真、模型、油絵、銅像、実物資料等を展示。</p>					

韓国	(資料館名) 戦争記念館	(所在地) ソウル	(設立形態) 国立	(設立年月) 1994年	(常設展示室面積(m ²)) 約20,000
<p>〈設置目的等〉 5000年に及ぶ歴史の中で周辺国から侵略された試練を克服した韓国民族の護国戦争に関する資料、韓国戦争(朝鮮戦争の韓国での呼称)等に関する資料を後世に継承すること。</p>					
<p>〈主な展示資料〉 韓国がかかわった、先史時代から現代の朝鮮戦争、ベトナム戦争等に至るまで、絵画、当時の武器、模型、映像資料等を展示。また屋外には、戦車、ミサイルなどの大型装備を展示。</p>					

※パンフレット、ホームページ、文献資料をもとに、事務局において作成